

Future-tech

近未来技術実証ワンストップセンターを通じて 様々な実証実験が進行中!

仙台市では、民間企業との連携を円滑に実施するための連携窓口「クロス・センダイ・ラボ」内に、AIやIoT、自動走行、ドローン等の近未来技術の市内での実証実験を支援する窓口として、「近未来技術実証ワンストップセンター」を設置しています。

この窓口では、必要な手続に関する電話・窓口相談の受付、関係機関や実証実験のフィールドとなる土地や施設の管理者等との調整等をワンストップで行い、民間企業等による実証実験の円滑な実施をサポートしています。

現在、この窓口を通じた様々な実証実験が、仙台市内を舞台に進行中です。実証実験をご希望の事業者様は、お気軽にご相談ください。



上：全国初「AIを活用した就業規則チェックシステム」の実証実験（株式会社日本法務システム研究所）/AIを活用した就業規則チェックシステムを用い、厚生労働省が作成したモデル就業規則との自動比較や関連法令の改定の反映などを行い、仙台市雇用労働相談センター（ELCC）での相談・審査業務の省人化を目指す。



上：ドローンによる8K空撮実証実験（一般社団法人映像配信高度化機構）/ドローンを使い高精細の8K動画で地域を空撮し、地域住民を集めた録画映像の上映会を開催。今後は、災害時の人命救助や被害把握への活用可能性を探りながら、5Gを組み合わせたリアルタイムで映像を共有するシステムの研究開発に取り組む。

左：ドローンを利用した無線通信実証実験（国立研究開発法人情報通信研究機構）/市内の橋梁において、ドローン積載用軽量送信機を用いた無線通信の実証実験を実施。ドローンを利用した橋梁点検シナリオを想定し、電波伝搬特性の測定と得られたデータをもとに、本市が管理する道路橋をモデルとした仮想環境を構築し、電波模擬システムの研究開発を進めている。

右：農業用ドローン操縦士の教習所「アグリフライヤードローンフィールド仙台」開校（株式会社エアトリビューン）/廃校跡施設に農業用ドローンの操縦を学べる教習所を開校。ICTを活用した「スマート農業」の担い手を育成し、農業現場の省力化・効率化を目指す。

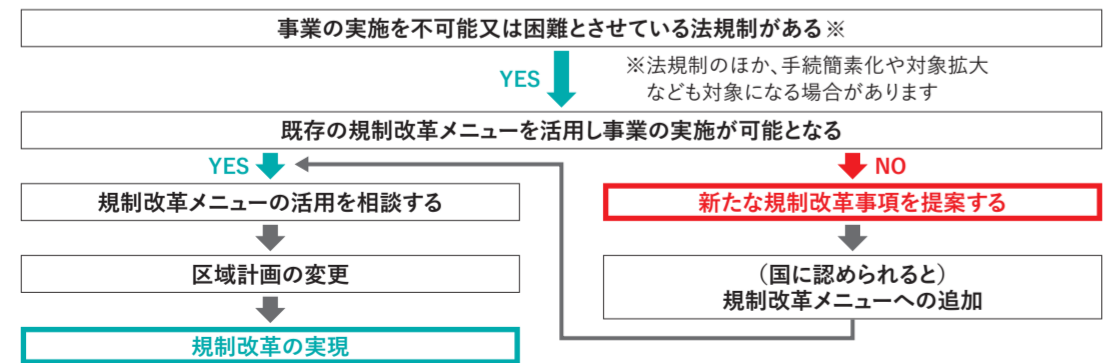
仙台特区ウェブサイトでは随時取り組み事例を公開中
仙台特区 仙台市近未来技術ワンストップセンター 検索



国家戦略特区制度を活用した 規制改革メニューのアイデアを募集しています!

「国家戦略特区」は、国が指定した地域において、法規制や手続きなど事業の実施を妨げている要因を取り除くため、大胆な規制改革を進め、事業者の皆様がより一層活動しやすくなるための環境を作ることを目的とした制度です。現在、本市を含め、全国で10区域が指定されています。

「国家戦略特区」では、国が用意している規制改革メニューの活用に加え、新たな規制改革のメニューを国に提案することができ、認められると新たなメニューとして追加されます。仙台市では、事業者の皆様からの新たな提案を随時募集しています。仙台特区を活用して、ともに未来を変えてみませんか?



問い合わせ



国家戦略特区情報紙

vol. 10

仙台市まちづくり政策局政策企画部プロジェクト推進課
〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号
TEL:022-214-8561 FAX:022-214-8037 E-mail:sendai-tokku@city.sendai.jp

国家戦略特区の概要や仙台市の取り組みについては、
仙台特区ウェブサイトでご覧いただけます。
仙台特区ウェブサイト
https://sendai-tokku.jp/



令和3年8月発行

仙台特区

Social Innovation SENDAI

vol.10

Topics

- ・スーパーシティ構想シンポジウム開催
- ・仙台市開業ワンストップセンター開設
- ・仙台市雇用労働相談センター利用者インタビュー
- ・様々な実証実験が進行中!



スーパーシティ構想とは、AIやビッグデータなどの先端テクノロジーを活用し、未来の生活を先行実現するもので、仙台市では、東北大学の青葉山キャンパスを中心とした各キャンパスの区域において、健康や医療、エネルギーなど5分野におけるサービス実装を目指しています。

シンポジウムは、郡和子仙台市長の他、スペシャルゲストに参議院議員・元内閣府特命担当大臣（地方創生担当）片山さつき氏を迎え、大野英男東北大学総長、リードアーキテクトである東北大学理事・副学長の青木孝文氏、アーキテクトの(株)ブロードバンドタワー代表 藤原洋氏、(株)巻組代表 渡邊享子氏、(株)サイバー・ソリューションズ代表 KEENI Glenn Mansfield 氏といった方々が登壇しました。

片山氏からは「スーパーシティ構想は、SDGsとDXを合体させた発想。しかし日本は、DXを担うデジタル人材が不足している。文理共通で人材育成が必須であり、本スーパーシティ構想で実装の場が創出できれば、強さは飛躍的に上がる。仙台市と東北大の協働プロジェクトの現場で経験が磨かれるよう、仙台に頑張ってもらいたい。ダイナミックな実験都市が実現できるのではないかと期待している。」とエールを送られました。

パネルディスカッションでは、大野総長からは「東北大では、文理ともに

AI授業を必修にするなどいち早くDX化を進めている。これからの東北大は、知識集約の場、市民が集まっていただく場、実践の場としていく。仙台市民のwell-being向上をデジタルツールを使って、トランスフォームしていくために、大学を使い倒してほしい。青木アーキテクトから「震災の影響もあり、社会と大学の科学がより近いものとなっているのが、他地域にはない特徴。仙台・東北地域で人の流入、大学の改革があり、スーパーシティを始めるにはふさわしい時期」。

ほかの登壇者の皆さんからは、市民へのメリット、仙台市の持つポテンシャルの高さ、海外の最先端デジタル都市との連携の可能性が提示されるなど、意見交換は盛り上がり、郡市長の「この仙台から、まるごと未来都市を創っていきましょう」という力強いメッセージで締めくくられました。

- 日時 2021年6月12日 13:00~15:00
- 場所 東北大学 知の館(オンライン開催)
- 主催 仙台市、東北大学
- 共催 東北大学研究推進・支援機構知の創出センター

アーカイブ動画を公開しています▶





ビジネス開発ディレクター
司法書士・行政書士
田中 光太郎 氏



仙台市起業支援センター
センター長
笹井 一史 氏



開業にまつわるオンライン申請を 専門家がサポート!

この6月、アエル7階「仙台市起業支援センター アシ☆スタ」内にオープンした、「仙台市開業ワンストップセンター」について伺いました。

—「開業ワンストップセンター」では、オンラインで行う法人や会社設立に関するサポートが受けられると伺いましたが、特徴を教えてください。

このセンターは国家戦略特区の制度を活用して「仙台市起業支援センターアシ☆スタ」の交流サロン内に設けられました。センター内に設置された法人・会社設立のオンライン申請専用端末から、開業に必要な手続きを行うことができます。

ひと口に開業のための手続きといっても、会社のルールをまとめた定款や登記書類を作成するなど、複雑で多岐にわたります。

また、どのような事業を行いたいのか、飲食業なのか、建設業なのかによっても届出が必要な書類は異なりますし、法人にするのか、個人事業主でスタートするのかによっても、行政手続きが異なります。

このような決まりごとを専門家である行政書士や司法書士に相談しながら、必要な手続きをオンラインで行えるのが特徴です。

—どんなことができますか。具体的に教えてください。

開業のための手続きを行おうとすると、会社の登記申請のために法務局を訪ねたり、人を雇用したい場合には労働基準監督署に行ったりと、複数の関係機関に向かう必要があります。

しかし、ここでならオンライン申請により、必要な手続きをワンストップで完了することができます。また飲食業や建設業など、業種によって取得の必要がある許認可などについても、幅広く相談することができます。



—どんなメリットがありますか。

開業の届出がスピーディに行えるのはもちろん、電子定款を選択することで、印紙税の減免を受けることができます。

具体的には、紙定款では4万円かかる印紙代が0円になります。これはセンター利用の直接のメリットではありませんが、「特定創業支援事業」という制度を活用すると、会社設立時の登録免許税の減免を受けることができ、通常15万円の登録免許税が半額の7万5千円になります。

このように有益な情報が入手できる点も、こちらを利用するメリットといえそうです。

—センターを利用するのに、必要なものはありますか。

費用は無料ですが、ご利用にはマイナンバーカードが必要です。また、事前予約を行ってください。



—開業を目指す方に、メッセージをお願いします。

この多様性の時代に、さまざまな新しいビジネスが展開できる環境が整ってまいりました。開業の志を一生懸命サポートさせていただきますので、ぜひご相談ください。(笹井氏)

コロナ禍でライフスタイルが変化していますが、そこには必ずビジネスチャンスがあると思います。ビジネスをどんどん活性化して、新しい時代をつくってください。(田中氏)



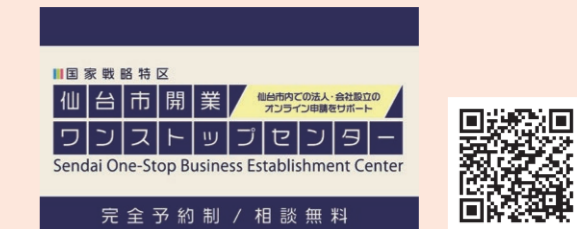
法人設立・会社設立の流れ

START!

- STEP 1** 開業ワンストップセンター
まずは専門家(行政書士・司法書士)に相談
月～金 9:00～17:00(祝日・年末年始を除く)
- STEP 2** 開業ワンストップセンター・ご自宅
定款等登記申請書類作成
△オンライン申請には
マイナンバーカードが必要です。
- STEP 3** 公証役場・ご自宅
『認証を受けたい定款』『実質の支配者となるべき者の申告書』を公証役場にメール送付し事前チェックを受けましょう。
- STEP 4** 公証役場
定款認証日予約
ワンストップセンターでの定款認証希望の旨を公証人に申し出てください。希望日時をお伝えください。決定された日時とテレビ電話のURLがメールで送られてきます。(アシ☆スタとの日程調整も必要です)
- STEP 5** 公証役場開業ワンストップセンター
定款認証
・電子定款のオンライン申請
・テレビ電話での本人確認
予約時間に20分前までに越しください。
- STEP 6** 法務局・開業ワンストップセンター
登記申請
・設立登記のオンライン申請
・登録免許税の納付
[仙台法務局民事行政部法人登記部門]
〒980-8601 仙台市青葉区春日町7-25
電話:022-225-5748
△もし補正があったら…
本人宛に法務局からメールが届きます。仙台法務局民事行政部法人登記部門(022-225-5748)に電話をして補正内容を確認、修正をしましょう。電話をする際は、仙台市開業ワンストップセンターのサポートを受けて申請した旨を伝えましょう。
- STEP 7** 法務局・ご自宅
登記事項証明書・印鑑証明書取得
法人番号取得
引き続き、各種税務・労務手続きを進めましょう。
- STEP 8** 開業ワンストップセンター・ご自宅
税務関係書類手続き
①法人設立届出
②青色申告承認申請
③給与支払事務所の開設届出
④県に法人設立・設置届出
⑤市に法人設立申告
- STEP 9** 開業ワンストップセンター・ご自宅
労務関係書類手続き
①健康保険・厚生年金保険新規適用届
②健康保険・厚生年金保険被保険者資格取得届
③健康保険被扶養者届
④国民年金3号被保険者資格取得届 等
- STEP 10** 手続き完了
開業おめでとうございます!

GOAL!

特区制度を活用した窓口をご利用ください!



仙台市開業ワンストップセンター



仙台市雇用労働相談センター



仙台テレワークサポートデスク

仙台市開業ワンストップセンター、仙台市雇用労働相談センター(仙台ELCC)に加え、企業のテレワーク導入やIT化を無料で支援する仙台テレワークサポートデスクの3つの窓口が、仙台駅前AER7階の仙台市産業振興事業団内に設置されています。

webから相談予約が可能です。ぜひお気軽にお問い合わせください。



(公財) 仙台市産業振興事業団
仙台市青葉区中央一丁目3番1号AER7階
TEL 022-724-1212

仙台市雇用労働相談センター利用者インタビュー

Voices

専門家に相談することで、新しい取り組みも生まれました。



株式会社プロスアップ
代表取締役社長 原田 佳和 氏

原田さんは、仙台市を中心にラーメン店「だし廊」を5店舗展開しています。その一方で精力的に商品開発を行い、通信販売も手がけています。

「最初は美味しいラーメンを食べてほしいという思いだけで、一人で店を始めました。ありがたいことに、徐々にお客さまが増え、従業員を雇用することになったことが、仙台市雇用労働相談センターに相談に伺うきっかけになりました。すぐに社会保険労務士の先生に繋いでいただき、やるべきことが明確になりました」と、センター利用のきっかけを話します。

その後、専門家とのやり取りの中で、クラウド型の勤怠管理を勧められ導入。「効率化を図ることで本業に専念する時間が増えたのはもちろん、最近、注目されるDXの波に期せずして乗ることができ、とても良かったと思っています。一步を踏み出すには、なかなか勇気が必要ですから」と原田さん。

今後も、強みである「だし」の種類の豊富さで勝負しながら、輸出にも対応できるよう準備を進めたいと意欲を見せます。